

【岐阜県 CKD 医療連携ツール】

1. eGFR グラフシート

eGFR の経過を患者と共有できるよう、わかりやすい eGFR グラフを作成しました。コンパクトで管理しやすく、おくすり手帳等に挟み込めるサイズです。糖尿病性腎症の患者も想定し、糖尿病手帳にも挟み込めるサイズとなっていますので、ご利用下さい。いずれも輪ゴムやホチキス等で手帳に挟み使用下さい。裏面には、グラフの使用法や数値による CKD 重症度の確認等が出来るようになっています。患者への説明としてお使い下さい。

表面

裏面

腎臓の状態を知り、腎臓を守るために

慢性腎臓病 (CKD) は、腎障害や腎臓量の低下が持続する疾患です。はじめは自覚症状がありません。放置すると、心筋梗塞や脳卒中などの心血管疾患の合併や、末期腎不全への進行をもたらします。

しかし、血液・尿検査で診断が可能であり、早期発見・治療により、腎臓病の改善や、進行を遅らせることが期待できます。自分の腎臓病を知り、腎臓を守るために、このシートを活用しましょう。

腎臓の働きを確認する **eGFR (推算糸球体濾過量)** とは、血液が1分間にどれくらいの量を濾して尿を作れるかを示す値で、腎臓の働きを確認することができます。健康な人では、GFRは100ml/分/1.73m²前後ですが、腎臓の働きが悪くなるとうるGFRの値は低くなります。一般的な腎機能の変化は、3年間で約1ml/min/1.73m²下がります。

グラフの使い方

- 健診や診察で、eGFRなどの検査を実施した際は、グラフに書き込み、自分の腎臓の状態を確認しましょう。
- GFRグラフから、将来的な腎機能の低下を予測することができます。

2. 腎臓シール

CKD 重症度に応じたシールを、お薬手帳や糖尿病手帳等の表紙に貼ることで、一見して患者の腎機能の状態を医療側（医師・看護師・薬剤師）が把握できるように作成しました。最新の採血結果より貼付ください。

GFR 値 緑 60 以上

黄 59~45

オレンジ 44~30

赤 29 以下



3. 精査依頼書・治療計画書（県内共通仕様）

病診連携のために、県内共通仕様が可能である診療情報提供書を作成しました。通常使用している診療情報提供書の概要（要約）を示すものとしてご使用ください。

- ・ 精査依頼書（かかりつけ医→腎臓専門医）
- ・ 治療計画書（腎臓専門医→かかりつけ医）

CKD精査依頼書（診療情報提供書）

下記の患者様を紹介申し上げます。ご高診をよろしく願います。 年 月 日

【紹介先】 医療機関名 診療科 先生 氏名
 【紹介元】 医療機関名 診療科 先生 氏名

患者氏名 性別 年齢 生年月日
 TEL

紹介目的
 CKD重症度の検査・診断・治療方針 連携確認
 CKD重症度、発症経緯 その他 ()

主要所見
 腎機能低下 (尿所見異常 血清クレアチニンの上昇)
 その他 ()

現病歴
 高血圧症 糖尿病 脂質異常症 高尿酸血症
 BMD異常 狭心症・心筋梗塞 TIA・脳梗塞
 AGO その他 ()

検査結果 (採血日の提供も可能です)
 血清クレアチニン 年 月 日 年 月 日
 eGFR ml/min/1.73m² mg/dl mg/dl
 尿蛋白/尿量 (尿量) / /
 尿蛋白/クレアチニン比 g/gCr g/gCr
 HbA1c (ヘモグロビン) g/gf g/gf
 尿酸 mg/dl mg/dl
 脂質検査 総コレステロール (mg/dl) g/dl g/dl
 HDL-C % %
 脂質異常症 診断 (mg/dl) 1・2・3・4・5 1・2・3・4・5

紹介後の方針
 患者様は、当患者において、下記CKD病診連携を希望します。
 貴院検査終了後、当院で治療希望 貴院と当院で併診希望
 貴院での加療及び経過観察 その他 ()

現在の処方内容 処方箋の写し、もしくはお薬手帳のコピーを添付する。

CKD治療計画書（診療情報提供書）

下記の患者様の情報を提供します。 年 月 日

患者氏名

診断名
 腎臓病 ADPKD (常染色体優性多嚢性腎臓病)
 糖尿病性腎臓病 慢性糸球体腎炎 その他 ()

結果報告
 腎生検 血液検査、尿検査 CT 腎臓病診断
 その他 ()

今後の方針
 腎生検 糖尿病・HbA1c治療 サルマシ治療
 入院入院 糖尿病専門医受診 その他
 併診は別途希望 外来フォロー 貴院での加療を依頼 (月後)

栄養指導
 たんぱく制限 栄養指導の依頼は別途診療情報提供書をご確認ください
 食塩摂取量の制限
 その他 ()

薬物療法
 薬物を変更します 薬物を変更しました
 追加処方を行いました 追加処方の変更をご確認ください
 その他 ()